学校番号	110

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	世界史探究（東京書籍）						
副教材等	最新世界史図説タペストリー二十四訂版（株式会社帝国書院） 新世界史研究ノート応用編（株式会社啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界史探究は、古代から現代までの世界の歴史を扱う科目です。歴史総合に比べて、扱う時代や歴史的事象はより広いものになります。２年次では、古代から中世までの世界の歴史を様々な文献や資料を活用しながら学びます。世界の歴史は、様々な地域に暮らす人々や文化などが結びつきながら展開していくので、世界史探究の授業では各地域のつながりや事象の背景を考える力が求められます。授業では、以下のことを意識しながら取り組んでください。

●知識の習得に加えて、学習内容について「なぜ」「どうして」と問いかけ、内容を深める。
●資料や文献などから情報を読み取ろうとする姿勢や能力を養う。また、根拠を示しながら自分の意見をまとめることができる力を養う。
●他の人と議論を通して、様々な考えに触れ、多面的・多角的に考察する。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することをめざす。
【思考力、判断力、表現力等】
事象が生じた背景や理由を資料やデータなど用いて考察し自分の意見としてまとめることができるようになるとともに、他者との議論を通じて考えを深める態度を養う。また、図表を作成するなどして自分自身の考えをまとめたり、他者に考えが伝わるよう工夫できるようになる。
【学びに向かう力、人間性等】
課題を追究したり解決したりする活動を通して、平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○世界史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件および周辺地域の動向や日本の歴史との関連に注目して理解する。 ○諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	○世界史の大きな枠組みおよび事象の意義や特色などを、時期や年代、推移・比較・相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力、課題を把握し解決を視野に入れて構想する力、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	○世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第1章　古代文明の出現	1．農業と気候 2．古代オリエントとエーゲ海地域 3．南アジアの古代文明 4．東アジアにめばえた文明	a:農業と気候、文明の誕生の概要について諸資料を活用して理解している。また、世界各地で起こった文明の特徴や類似点・相違点について、諸資料を活用して理解している。 b:農耕と牧畜の開始が人類の生活様式に与えた影響や、各地の自然環境に応じて文明が成立したことを多面的・多角的に考察し、表現しようとしている。 b:メソポタミア文明、エジプト文明、エーゲ文明など世界各地に成立した文明が各地の自然環境とどのように関係しているのか、また後の社会や各地の文化などにどのような影響を与えたのかについて多面的・多角的に考察し、表現しようとしている。 c:古代文明の歴史的特質について自らの学習を振り返り、学びを深めている。また、現在の世界とのつながりを考え、調べようとしている。	定期考査 小テスト ワーク等	定期考査 提出ノート ワーク等 定期考査 提出ノート ワーク等	提出ノート プリント課題 ワーク等

	第2章　西アジアと地中海周辺	1．古代オリエントの統一 2．古代ギリシアとヘレニズム世界 3．ローマ帝国と地中海世界 4．古代末期の社会と地中海世界の解体 5．地中海世界とアジア 6．イスラーム世界の成立 7．中世初期の東西ヨーロッパ	a:古代オリエントの統一、古代ギリシアとヘレニズム世界の概要を諸資料から読み取り、理解している。 a.ローマによる地中海世界の統一、共和政から帝政に移行した背景、ローマ帝国の政治・社会・宗教が変化していく過程、ゲルマン人の大移動が東西ローマ帝国にもたらした影響などについて諸資料を読み取り、概要を理解している。 a.パルティア王国やササン朝が南・東アジアと繋がっていたことについて、諸資料を読み取り、概要を理解している。また、イスラームの特徴を踏まえ、イスラーム世界の成立について概要を理解している。 b:この章で取り上げる王朝や帝国などの統治方法に注目し、その類似点や相違点、統治方法がもたらした影響などについて、諸資料を活用しながら、多面的・多角的に考察し、考えをまとめようとしている。 b.この章で取り上げる王朝や帝国などの政治制度について、学んだ知識や諸資料を活用し、類似点や相違点の整理、政治制度が変容する背景などについて多面的・多角的に考察し、まとめようとしている。 c.キリスト教やイスラームといった宗教が国家や社会にどのような影響をもたらしたのかを諸資料を使い、多面的・多角的に考察し、まとめようとしている。 c:古代ギリシアとローマ帝国の共通点や相違点について自らの学習を振り返り、まとめようとしている。また、現在の世界に残っている遺跡や文化的な影響などを調べようとしている。	定期考査 小テスト ワーク等 定期考査 小テスト ワーク等 定期考査 小テスト ワーク等	定期考査 提出ノート ワーク等 定期考査 提出ノート ワーク等	提出ノート プリント課題 ワーク等

	第3章　南アジア	1．南アジアにおける国家形成 2．インド世界の形成	a:南アジアの諸宗教、国家・社会の成立、インド世界の形成過程や特徴を諸資料から読み取り、理解する b:南アジアの諸宗教、国家・社会の特徴について資料を活用しながら多面的・多角的に考察し。表現している。 c:南アジアの歴史的特質について、他の地域の特質との比較や学習内容の振り返りをとおして、学びを深めようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 提出ノート ワーク等	提出ノート プリント課題 ワーク等
	第4章　東南アジア	1．海の道の形成と東南アジア 2．東南アジア諸国家の再編成	a:東南アジア基層文化の上に交易網が発達し、港市国家が形成されていく過程や海上交易の拡大にともなう国家形成を諸資料から読み取り、理解している。 b:東南アジアの国家や文化の特徴について諸資料を用いて島嶼部と大陸部とを比較し、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:東南アジアを舞台に行われた海上交易が当時の世界の歴史や他地域に及ぼした影響を、諸資料を用いて考察しようとしている。また、東南アジア特有の文化についてインターネットなどを活用して自ら調べようとしている。	定期考査 小テスト ワーク等	定期考査 提出ノート ワーク等	提出ノート プリント課題 ワーク等

	第5章　東アジアと中央ユーラシア	1．古代帝国の誕生 2．中国の分裂と多様化 3．隋唐帝国と東アジア 4．草原地帯のトルコ化とイスラーム化	a:中国大陸で社会統合が進み、中央集権国家が成立したことや各王朝で成立した政治制度や文化などについて諸資料を活用して理解している。	定期考査 小テスト ワーク等		
			a:中国の周辺民族について、各王朝との対立、南北朝時代の中国の分裂と多様化、突厥の成立を背景にトルコ化・イスラーム化が進展したことなどについて、諸資料を活用し理解している。	定期考査 小テスト ワーク等		
			a.隋唐による冊封を通じて形成された東アジアの国際関係の特徴や周辺国への影響について諸資料を活用して理解している。	定期考査 小テスト ワーク等		
			b:各王朝の成立背景や特徴について、諸資料を活用し、多面的・多角的に考察し、表現している。		定期考査 提出ノート ワーク等	
			b:中国の周辺民族と王朝が、交流を通じて双方の社会・政治・文化にどのような影響をもたらしたのかを諸資料を活用し、多面的・多角的に考察し、表現しようとしている。		定期考査 提出ノート ワーク等	
			b:冊封による国際関係が成立した背景を各国の思惑や当時の国際関係の特徴などに注目して、諸資料を活用しながら多面的・多角的に考察し、表現しようとしている。		定期考査 提出ノート ワーク等	
			c:騎馬遊牧民の歴史的特徴や現在の姿について情報収集するとともに、収集した情報や資料を活用して、自ら調べ学びを深めようとしている。			提出ノート プリント課題 ワーク等

後期	第6章　アフリカ、オセアニア、古アメリカ	1. アフリカ 2. オセアニア 3. 古アメリカ	a:自然環境との関わり、諸地域に成立した文化・宗教などに注目し、ユーラシア大陸以外の地域に成立した文明の特徴を理解している。 b:各地域の歴史に関わる諸事象の背景・原因・影響、諸地域の関わりなどに着目し、諸資料を活用して多面的・多角的に考察し、表現しようとしている。 c:各地域の歴史的特質について、自らの学習を振り返り、学びを深めている。また、各地域に成立した文化を同時代の他地域の文化と比較することで、その特色や独自性について多面的・多角的に考察し、興味・関心を深めようとしている。	定期考査 小テスト ワーク等	定期考査 提出ノート ワーク等	提出ノート プリント課題 ワーク等
	第7章　イスラーム世界の拡大と繁栄	1. イスラーム世界の発展 2. イスラーム文明	a:イスラーム世界に並存していた複数の王朝や王朝間の関係、諸王朝とイスラーム宗派の結びつき、神秘主義教団などについて諸資料から読み取り、理解している。 a. イスラーム文明のもとで成立した学問・文化・文芸作品などについて諸資料を読み取り、理解している。 b:カリフと地方政権との関係に注目し、イスラーム世界が複数の国家に分裂していく過程やその関係を多面的・多角的に考察し、表現している。 b:「商業」「学問」をキーワードに、イスラーム文明の特徴やヨーロッパに与えた影響などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:イスラーム世界の拡大と繁栄について主題を設定し、考察し表現している。また、世界遺産やニュースなどを取り上げ、当時の文化や事象が現代世界にどのような影響を与えているのかを調べたり、多面的・多角的に考察しようとしたりしている。	定期考査 小テスト ワーク等 定期考査 小テスト ワーク等	定期考査 提出ノート ワーク等 定期考査 提出ノート ワーク等	提出ノート プリント課題 ワーク等

	第8章　中世ヨーロッパ	1．中世ヨーロッパ社会の展開 2．中世西ヨーロッパ社会の成熟 3. 中世西ヨーロッパの文化 4．中世ヨーロッパ社会の再編 5. ルネサンス	a:西ヨーロッパ封建社会の成立や東ヨーロッパ社会の動向、西ヨーロッパ社会やカトリック教会の発展、西ヨーロッパ文化の特徴について、諸資料から読み取り、理解している。	定期考査 小テスト ワーク等		
			a:中世後期の西ヨーロッパ各地の動向をもとに、西ヨーロッパ封建社会がどのように変容したかについて、諸資料から読み取り、理解している。	定期考査 小テスト ワーク等		
			a:ルネサンスの展開や近代につながる科学技術の発達について、諸資料から読み取り、理解している。	定期考査 小テスト ワーク等		
			b:西ヨーロッパ封建社会や東ヨーロッパ社会の成立や特徴、西ヨーロッパ社会とカトリック教会との結びつきなどの背景について、諸資料や地理的特徴を踏まえて、多面的・多角的に考察し、表現しようとしている。		定期考査 提出ノート ワーク等	
			b:封建社会や政治制度の変容について、農業・商業・都市・文化などに注目して、諸資料を活用して多面的・多角的に考察し、表現しようとしている。		定期考査 提出ノート ワーク等	
			b:ルネサンスの社会的背景やルネサンスが同時代や後世に与えた影響について、多面的・多角的に考察し、表現しようとしている。		定期考査 提出ノート ワーク等	
			c:学習内容や諸資料をもとに、現在の西ヨーロッパと東ヨーロッパの特徴、キリスト教の宗派の教義・儀式の特徴や信者の分布、ルネサンス期の芸術作品や文学などについて自ら調べ、まとめようとしている。			提出ノート プリント課題 ワーク等

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度